無線周波数の無線方式によりデータを転送する設計のデータ接続又はネットワーク接続のポート（インターフェイス）	3.0	0.7
外部装置（カード／カメラ／記憶装置等）が接続可能な設計の物理的なデータ接続又はネットワーク接続のポート（インターフェイス）	0.5	0.1
赤外線技術によってデータ転送する設計のデータ接続又はネットワーク接続のポート（インターフェイス）	0.2	0.2
個別の内部記憶装置（ストレージ）ドライブ（ＳＣＳＩ等の外部ドライブ又は内部メモリに対するインターフェイスは含まれない）	—	0.2
冷陰極蛍光灯（ＣＣＦＬ）又はその他技術のランプを使用するスキャナ	—	0.5
ＰＣがないと印刷／複写／スキャンができない、ＰＣを基本とするシステム	—	−0.5
コードレス電話用通信システム	—	0.8
内部メモリ容量	—	１ＧＢごとに1.0W
電源装置の定格出力／ＰＳＯＲ（許容値は表４−１の製品にのみ適用される）	—	ＰＳＯＲ＞10Wの場合 0.02×（ＰＳＯＲ−10W）

備考）　「第１許容値」とは、コピー機等のスリープ中に稼働したままの接続に対して追加可能な許容値、「第２許容値」とは、コピー機等のスリープ中に無稼働にできる接続に対して追加可能な許容値をいう。

表６−１　リユースに配慮したコピー機に係る低電力モード消費電力等の基準

コピー速度（ＣＰＭ：１分当たりのコピー枚数）	低電力モード消費電力	低電力モードへの移行時間	低電力モードからの復帰時間	オフモード消費電力	オフモードへの移行時間	両面コピー機能
０＜ＣＰＭ≦20	—	—	—	≦５Ｗ	≦30分	推奨
20＜ＣＰＭ≦44	≦3.85×ＣＰＭ＋５Ｗ	≦15分	≦30秒	≦15W	≦60分	必須
44＜ＣＰＭ	≦3.85×ＣＰＭ＋５Ｗ	≦15分	≦30秒（推奨）	≦20W	≦90分	必須

備考）１　「コピー速度」とは、１分当たりのコピー枚数（ＣＰＭ）をいう。以下表６−２において同じ。両面コピーについてはコピー枚数を２枚と計算する。

大判コピー機を除くコピー機については、Ａ４サイズの用紙を用いた場合のコピー速度とする。また、大判コピー機については、当該機器の最大サイズの１分当たりのコピー枚数を次のようにＡ４サイズの用紙のコピー枚数に換算してコピー速度を算定する。

①Ａ２サイズの用紙は、コピー枚数を４倍すること。

②Ａ１サイズの用紙は、コピー枚数を８倍すること。

③Ａ０サイズの用紙は、コピー枚数を16倍すること。

２　「両面コピー機能」とは、自動的に両面をコピー又は画像出力することができる機能とする。以下表６−３及び表６−５において同じ。

３　「推奨」とは、両面コピー機能を備えていること又は両面コピー機能を付加的に備えることができることが望ましいことをいう。以下表６−３及び表６−５において同じ。

４　「必須」とは、両面コピー機能を備えていること又は両面コピー機能を付加的に備えることができることをいう。以下表６−３及び表６−５において同じ。

５　「低電力モード」とは、一定時間操作が行われなかった後に自動的に切り替えられ実現される低電力状態をいう。以下表６−２から表６−６において同じ。

６　「オフモード」とは、一定時間が経過した後に自動オフ機能によって電源を切った状態をいう。以下表６−２、表６−５及び表６−６において同じ。

７　消費電力の測定方法については、国際エネルギースタープログラム制度運用細則（平成18年１月１日施行）別表第２による。以下表６−２から表６−６において同じ。

８　低電力モードの消費電力が常にオフモードの消費電力を満たす場合は、オフモードを備える必要はない。以下表６−２、表６−５及び表６−６において同じ。

表６−２　リユースに配慮した大判コピー機に係る低電力モード消費電力等の基準

コピー速度（ＣＰＭ：１分当たりのコピー枚数）	低電力モード消費電力	低電力モードへの移行時間	低電力モードからの復帰時間	オフモード消費電力	オフモードへの移行時間
０＜ＣＰＭ≦40	—	—	—	≦10W	≦30分
40＜ＣＰＭ	≦3.85×ＣＰＭ＋５Ｗ	≦15分	≦30秒（推奨）	≦20W	≦90分

表６−３　リユースに配慮した複合機（カラーコピー機能を有するものを含む。）に係る低電力モード消費電力等の基準

画像再生速度（ipm：１分当たりの画像出力枚数）	低電力モード消費電力	低電力モードからの復帰時間	スリープモード消費電力	スリープモードへの移行時間	両面コピー機能
０＜ipm≦10	—	—	≦25W	≦15分	推奨
10＜ipm≦20	—	—	≦70W	≦30分	推奨
20＜ipm≦44	≦3.85×ipm＋50W	≦30秒	≦80W	≦60分	必須
44＜ipm≦100	≦3.85×ipm＋50W	≦30秒（推奨）	≦95W	≦90分	必須
100＜ipm	≦3.85×ipm＋50W	≦30秒（推奨）	≦105W	≦120分	必須

備考）１　「スリープモード」とは、低電力モードに移行後に引き続き出力動作が行われなかった場合、電源を切ることなしに自動的に切り替えられ連続的に実現される第二の低電力状態をいう。以下表６−４について同じ。

２　低電力モードの消費電力が常にスリープモードの消費電力を満たす場合は、スリープモードを備える必要はない。以下表６−４において同じ。

３　低電力モードへの移行時間は出荷時に15分以下にセットする。以下表６−４から表６−６において同じ。